

# マヤ暦 チーム相性・役割配置 診断書 SAMPLE

古代マヤの叡智 × AI | 組織診断・人材配置レポート

Maya Visualize Labo

対象	4名チーム（サンプル）
種別	チーム相性・役割配置 診断（法人向け・見本）
作成	Masy's / Maya Visualize Labo（マヤ暦経営コンサルティング）

## 0. メンバー一覧

#	お名前	KIN	太陽の紋章	銀河の音	色
A	メンバーA	KIN260	黄色い太陽	音13・宇宙	● 黄
B	メンバーB	KIN222	白い風	音1・磁気	○ 白
C	メンバーC	KIN9	赤い月	音9・太陽	● 赤
D	メンバーD	KIN238	白い鏡	音4・自己存在	○ 白

※本書はサービス内容をご紹介するためのサンプルです。お名前・生年月日は掲載していません。

## 1. 診断サマリー（結論）

このチームは、役割がきれいに分かれた“バランス型”です。「立ち上げる人・固める人・動かす人・まとめる人」がそろっており、一つのプロジェクトを最後まで回せる布陣になっています。

- 最大の強み：**品質・発信（白2名）が厚く、まとめ役（A）と推進役（C）が明確。
- いちばんの注意点：**「青（変化への柔軟さ・臨機応変・変革）」を持つ人が不在。急な方向転換や想定外への対応が弱点になりやすい。
- 重点テーマ：**各自の“得意フェーズ”に沿って役割を固定しすぎず、C（流れを変える力）を「変化対応係」として意識的に活かす。

## 2. 各メンバーの強み・向いている役割

### A — KIN260 黄色い太陽／音13・宇宙

- 本質：**統合・あたたかさ・全体を照らす“象徴／顔役”。集大成・完成を表すまとめの器。
- 向いている役割：**リーダー・全体統括・対外的な看板。全体の方向とチームの空気を握る人。

### C — KIN9 赤い月／音9・太陽

- 本質：**浄化・使命・流れを変える。チーム唯一の“赤（行動・起動）”。
- 向いている役割：**推進エンジン・改革担当。決めたことを前に進め、現状を変える実行役。

### B — KIN222 白い風／音1・磁気

- 本質：**伝える・繊細・スピリット。言葉と発信の力。
- 向いている役割：**発信・言語化・企画の立ち上げ。メッセージの第一声をつくる役。

### D — KIN238 白い鏡／音4・自己存在

- 本質：**秩序・真実・映し出す。ごまかしを嫌う正確さ。
- 向いている役割：**品質管理・仕組み化・数字とルールの番人。精度を担保する役。

3. 「銀河の音」で見るチームの流れ

B 音1 (起こす) → D 音4 (固める) → C 音9 (進める) → A 音13 (まとめる)  
 立ち上げ                      土台・仕組み                      推進・突破                      統合・完成

- 示唆：新規案件は「Bが旗を立てる → Dが形にする → Cが動かす → Aが仕上げて外に出す」の順で回すと、各自の“音”が自然に活きます。
- 逆に、C (推進) にゼロからの企画立ち上げを任せたり、B (起点) に地道な仕組み固めを長く任せると、力が出にくくなります。

4. 4色バランス (チームの体質)

色	人数	フェーズ	このチームでは
● 赤 (起動・行動)	1 (C)	スタート・推進	エンジンはCひとり。行動力はCに依存
○ 白 (洗練・品質)	2 (B・D)	発信・仕組み・品質	<b>最も厚い。品質と発信が強み</b>
● 青 (変容・柔軟)	0	変化・変革・臨機応変	<b>不在=弱点</b>
● 黄 (実り・成熟)	1 (A)	まとめ・成果	まとめ役はAが担う

- 強み：「白2+黄1」で、丁寧・高品質・きちんと仕上げる体質。信頼で積み上げる事業に強い。
- 弱点と補い方：青 (変化対応) が不在。C (赤い月=“流れを変える”紋章) に意識的に変化対応役を渡す、または外部ブレーンで「青」を補う。

5. 相性・組み合わせの提案

組み合わせ	相性	読み解き
B × D	◎ 噛み合う	ともに“白”で価値観 (品質・丁寧さ) が近い。発信～仕組み化のラインとして相性良好。
C × A	◎ 補完	「動かす人×まとめる人」。実行～完成のラインが回る。
C × D	△ 要相互理解	行動派と管理派。Cの速さをDの仕組みが受け止めると最強の補完に。ルールの事前共有が鍵。
B × C	○ テンポ注意	起点と推進でテンポ差あり。Bの企画をCが形にする流れなら◎。

6. 配置・役割分担の提案 (総合)

役割	担当	理由
統括・対外・最終判断	A	黄色い太陽=まとめ・看板/音13=大局
企画・発信・立ち上げ	B	白い風=伝える/音1=起点
推進・改革・実行	C	赤い月=流れを変える/音9=情熱推進
品質・仕組み・管理	D	白い鏡=秩序・正確/音4=土台固め
変化対応 (兼務)	C or 外部	チームに“青”不在のため意識的に補う

7. 90日アクション (チーム)

期間	やること	ねらい
0~30日	「音の流れ (B→D→C→A)」で1案件を試験的に回す	各自の得意フェーズを体感する
31~60日	Cに「変化対応・トラブル対応」を正式に割り当てる	弱点 (青の不在) を内部で補う
61~90日	B×D (発信～仕組み) ラインを1つの型に落とす	再現性のある業務フローにする

※本診断はマヤ暦（ドリームスベル系）にもとづくチーム理解・役割設計の補助ツールであり、成果を保証するものではありません。最終的な人事・配置の判断は経営者ご自身の責任で行ってください。

---

Maya Visualize Labo | 運営：Masy's | マヤ暦の視点 × AI分析で、組織と人の可能性を見える化 | お問い合わせ：viale9955@gmail.com